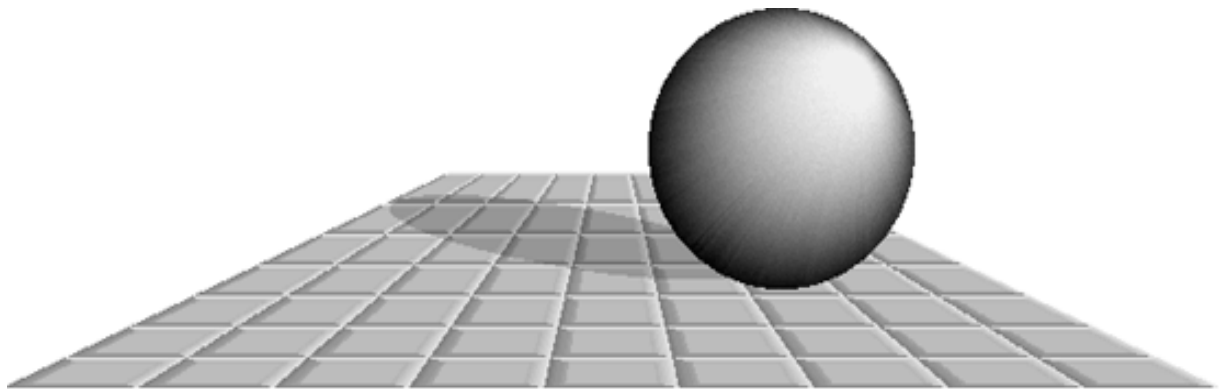




PCMCIA 2.1 / JEIDA 4.2  
FLASH / HardDisk ATA PC カード

# RHX-ATA Series

ユーザーズマニュアル



1996年11月

第2.0版

**RATOC**  
ラトックシステム株式会社

# 目次

---

はじめに	1
ご注意	1
カード取扱上の注意	1
製品に関するお問い合わせ	2
1. RHX-5xxx シリーズ ATA PC カードについて	1-1
FLASH ATA カードの特徴	1-1
対応パソコン	1-1
対応 OS (オペレーティングシステム)	1-2
制限	1-2
2. ATA カードを使用する	2-1
ATA カードを Windows95 で使用する	2-1
Windows95 でのセットアップ	2-1
Windows95 での ATA カードのフォーマット	2-1
ATA カードのドライブが表示されないとき	2-2
ATA カードを DOS/Windows3.1 で使用する	2-3
DOS/Windows3.1 でのセットアップ	2-3
DOS/Windows3.1 での ATA カードのフォーマット	2-3
うまく動作しない場合	2-4
ATA カードを WindowsNT4.0 で使用する	2-5
WindowsNT4.0 でのセットアップ	2-5
WindowsNT4.0 での ATA カードのフォーマット	2-5
ATA カードを Macintosh で使用する	2-6
Macintosh でのセットアップ	2-6
ATA カードのフォーマット形式について	2-6
Macintosh フォーマットについて	2-6
3. 付録	3-1
各カードサービス別の設定例	3-1
IBM のカードサービスまたは Play At Will	3-1
Phoenix CARD Manager Plus (PC-DOS 6.1/V,6.3/V に付属)	3-2
SystemSoft 製カードサービス(CardSoft)	3-2
DATABOOK 製 CARDTALK およびカードサービス	3-3
NEC PC98 ノートシリーズ	3-3
EPSON PC-486/586 シリーズ(98 互換機)	3-4
各ディスクの仕様	3-5
FLASH ATA カードの仕様	3-5
ATA ハードディスクカードの仕様	3-5
オプション製品について	3-6
デスクトップパソコンで ATA カードを使用する場合	3-6

---

## はじめに

このたびは RHX シリーズ FLASH ATA PC カードおよび HD ATA PC カードをお買い上げいただきありがとうございます。未永くご愛用承りますようお願い申し上げます。本書は RHX シリーズ FLASH ATA PC カードおよび HD ATA PC カードの導入ならびに使用方法を説明したマニュアルです。製品を正しくお使いいただくため、ご使用前に本書をよくお読みください。

本書は、FLASH ATA PC カード・HD ATA PC カード共通マニュアルのためご購入頂いた製品に直接関係しない部分の説明も含まれますがあらかじめご了承ください。

## ご注意

- ・ 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容については万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤りなどに気づきになりましたらご連絡願います。
- ・ 運用の結果につきましては責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ・ お客様がご使用になる環境によりましては、本書の手順どおりにインストールできない場合もありますのであらかじめご了承ください。
- ・ 本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- ・ 本製品および本製品付属のマニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商品または登録商標です。

## カード取扱上の注意

- ・ カードやケーブルの分解や改造等は絶対に行わないでください。
  - ・ カードやケーブルを無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを載せる等は行わないでください。
  - ・ ケーブルを抜くときは、コネクタ両側の突起を押しながら抜いてください。
  - ・ カードは電子機器ですので静電気を与えないようしてください。
  - ・ ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与えることがあります。
  - ・ モータなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してご使用ください。
  - ・ 煙が出たり、変な臭いがする場合は、ただちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブル等もコンセントから抜いてください。
- 必ず、販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

- ・カードが濡れた場合、ショートによる火災や感電のおそれがあるため使用しないでください。  
必ず、販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- ・本製品を使用しない場合、PC カードスロットから外し、付属のケースに保管してください。
- ・本製品を使用しない場合、次のような場所での保管は避けてください。  
直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所、暖房器具等の近く、温度差の激しい場所  
チリやほこり、湿気の多い場所  
振動や衝撃の加わる場所  
スピーカ等の磁気を帯びたものの近く

### 製品 に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

ラトックシステム株式会社  
サポートセンター  
〒556  
大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル  
TEL 06-633-6766  
月～金10:00～17:00 土曜、日曜および祝日を除く  
FAXでの受付は24時間行っております。  
FAX 06-633-3553

また、NIFTY Serve の以下のフォーラムでも受け付けております。

PC Vendor STATION E  
(SPCVE)  
電子会議室 8 番「ユーザサポート」

お問い合わせの際には、最後のページの「質問用紙」に必要事項を記入の上、上記 FAX 番号までお送りください。折り返し弊社より電話または FAX にて回答させていただきます。  
ご質問に対する回答は上記営業時間内の処理となりますのでご了承ください。  
また、ご質問の内容によりましてはテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合もございますので予めご了承ください。

## 1. RHX-5xxx シリーズ ATA PC カードについて

RHX-5005 / 5010 / 5020 / 5040 は PCMCIA2.1/JEIDA4.2 に準拠した Type II の PC カード型フラッシュメモリーディスクです。

RHX-5170 / 5260 は PCMCIA2.1/JEIDA4.2 に準拠した Type III の PC カード型ハードディスクドライブです。

PCMCIA2.1/JEIDA4.2 規格の PC カードスロットを持つパソコンで使用できます。

ハードディスクカード、フラッシュ ATA カード双方ともカードサービスの ATA ディスクドライバにより、通常のハードディスク/フロッピーディスクと同様に使用することができます。

### FLASH ATA カードの特徴

RHX シリーズ FLASH ATA カードは以下のような特徴をもちます。

#### 1. 自動スリープ

リード/ライト等の動作終了後、5mSec 以内に次の動作が起こらなかった場合、消費電力を抑えるため自動的にスリープモードに移ります。スリープモード時には 7mA の低消費電力となります。

また、スリープモード時にリード/ライト動作が起こった場合、自動的にアクティブ状態に復帰します。この時の時間は下記の表の通りとなります。

状態の移行	移行にかかる時間
スリープ リード	2.0mSec 以下
スリープ ライト	2.5mSec 以下

#### 2. 20 万回の書き換え回数(RHX-5005 / 5010 / 5020 / 5040)

従来のフラッシュメモリを使用したディスクは書き換え回数に制限がありましたが、本製品では 20 万回と飛躍的に多くの書き換え回数を保証します。

### 対応パソコン

本製品は、PCMCIA2.1/JEIDA4.2 以降の規格の PC カードスロットを装備している以下のパソコンで使用できます。

- ・ DOS/Vパソコン (PC/AT 100%互換機)
- ・ NEC PC-9800/9821 シリーズ
- ・ EPSON PC-486/586 Note シリーズ
- ・ Apple Macintosh PowerBook シリーズ

### 対応 OS (オペレーティングシステム)

本製品は以下のOSに対応しています。

DOS/V (PC/AT 100%互換機)	Microsoft Windows 95, Microsoft WindowsNT 4.0, MS-DOS 5.0/V 以降, Microsoft Windows 3.1
NEC PC-9821 シリーズ	Microsoft Windows 95, MS-DOS 3.3D/5.0 以降, Microsoft Windows 3.1
EPSON PC-486/586 Note シリーズ	Microsoft Windows 95, MS-DOS 5.0 以降, Microsoft Windows 3.1
Apple Macintosh PowerBook シリーズ	System 7.5.1 以降

### 制限

- DOS/Windows3.1 で使用するには、カードサービスと ATA カード用のデバイスドライバが必要です。パソコン本体にインストールされていない場合は、別途ご用意ください。
- FLASH ATA カードおよび HD ATA カードからのシステムの起動はサポートしておりません。また、OS そのものをインストールすることもできません。
- HD ATA カードは、TYPE III の PC カードスロットでのみ使用可能です。
- WindowsNT 3.51 では、ご使用頂けません。
- コンピュータのバッテリーを長時間保たせるために、スロットに供給される電源を制限するなど設定を行う必要があります。設定の方法はコンピュータ本体のマニュアルを参照してください。また、そのような機能がない場合はカードをスロットから抜いてスイッチを切ってください。
- FLASH ATA カードおよび HD ATA カードに保存する重要なファイルに関しては、万一の消去、故障に備えて必ずバックアップをとっておくことをお勧めします。

## 2. ATA カードを使用する

### ATA カードを Windows95 で使用する

#### Windows95 でのセットアップ

Windows95 では、ATA ハードディスクカードや FLASH ATA カードはハードディスクコントローラとして登録されます。

1. Windows95 を起動します。
2. ATA カードを PC カードスロットに装着します。
3. 「新しいハードウェア」として認識します。
4. RHX-5005/5010/5020/5040 の場合、自動的にドライバを読み込んで登録します。
5. RHX-5170/5260 の場合、『新しいハードウェアにインストールするドライバ』を選択してください。』というダイアログボックスが表示されます。  
ここで「Windows 標準のドライバ」を選択して [ OK ] ボタンを押すと自動的にドライバを読み込んで登録します。

#### Windows95 での ATA カードのフォーマット

Windows95 では、ATA ハードディスクカードや FLASH ATA カードはハードディスクと同じ手順でフォーマットします。

1. Windows95 を起動します。
2. ATA カードを PC カードスロットに装着します。
3. Windows95 の [ マイコンピュータ ] を開きます。
4. ATA カードに割り当てられたドライブアイコンの上でマウスの右ボタンをクリックします。
5. 表示されたメニューから [ フォーマット(M)... ] を選択してフォーマットを実行します。

### ATA カードのドライブが表示されないとき

ATA カードのドライブアイコンが表示されない場合、以下の手順でリソースを変更してみてください。

1. ATA カードを PC カードスロットに装着します。
2. [コントロールパネル]の[システム]アイコンをダブルクリックして[システムのプロパティ]を起動します。そして、[デバイスマネージャ]を開きます。
3. [ハードディスクコントローラ]の行をダブルクリックして下の各 ATA カードに対応した項目をダブルクリックしてプロパティを表示します。  
FLASH ATA カード - [SunDisk ATA FlashDisk]  
RHX-5170/5260 - [スタンダード IDE/ESDI ハードディスク コントローラ]
4. [リソース]をクリックしてカードのリソースを表示します。  
そして、[自動設定]のチェックをクリアします。
5. 設定登録名の欄 [基本設定 000x] の右側の上下矢印をクリックして [I/O ポートアドレス] [IRQ] の項目が各 1 行表示される設定に変更します。
6. [I/O ポートアドレス]を選択して[設定の変更(C)...] ボタンをクリックします。
7. [I/O ポートアドレスの編集]の画面が表示されるので設定値を他のデバイスと競合しない値に変更します。例えば「0110-011F」という具合に入力します。
8. [IRQ]についても同様の手順で他のデバイスと競合しない値に変更します。
9. 最後に、競合するデバイスの欄に「競合なし」が表示されているのを確認して [OK] ボタンを押します。
10. [システムのプロパティ]を終了して Windows95 を再起動します。



## ATA カードを DOS/Windows3.1 で使用する

### DOS/Windows3.1 でのセットアップ

DOS/Windows3.1 では、ATA ハードディスクカードや FLASH ATA カードはカードサービスとそれに対応した ATA ドライバを登録します。

1. カードサービスが組み込まれていることを確認します。  
そして、カードサービスに含まれている ATA ドライバを登録します。
2. パソコンを再起動します。
3. ATA カードを PC カードスロットに装着します。

ATA カードのドライバが正常に起動すると PC カードスロットそれぞれに MS-DOS のドライブ名が割り当てられます。これによりフロッピードライブ感覚で ATA カードを使用できます。

カードサービスや ATA ドライバに関する詳細は、パソコン本体のマニュアルの PC カードに関連する説明をご覧ください。

また、本書の「付録」では、主なカードサービスの設定例を説明していますのでそちらも合わせてご覧ください。

### DOS/Windows3.1 での ATA カードのフォーマット

DOS/Windows3.1 では、ATA ハードディスクカードや FLASH ATA カードはカードサービスに付属のユーティリティでフォーマットします。

詳しくは、パソコン本体のマニュアルの PC カードに関連する説明をご覧ください。

### は動作しない場合

本製品が正常に動作しない原因としてまず考えられるのは、カードサービスの設定が正常に行われていないということです。プレインストールの場合はほとんど以下のような問題点はないと考えられますが、別売りのカードサービスをインストールしてある場合や新しいカードサービスをインストールする場合など、次の点に注意して設定を行ってください。

カードサービスの設定に関する注意点を以下に記します。

1. EMM386.EXE に付加する「X=xxxx-xxxx」(98NOTE, EPSON NOTE では /E=xxxx-xxxx)オプションの設定  
カードサービスは本体メモリの一部をメモリウィンドウとして使い、PC カードの情報を読み出します。  
EMM386.EXE 等の拡張メモリマネージャを使用する場合、拡張メモリマネージャがこのメモリウィンドウを重複して使うことのないように「X=xxxx-xxxx」というオプションを付ける必要があります。  
例えばカードサービスが C800-CFFF をメモリウィンドウとして使用する場合、  
DEVICE=C:¥DOS¥EMM386.EXE RAM X=C800-CFFF  
と指定します。  
メモリウィンドウの範囲はカードサービスによって決められ、本体の環境によって異なります。

カードサービスによってはインストール時にこのオプションが自動的に付加されるものもありますが、そうでない場合はエディタ等で CONFIG.SYS を修正する必要があります。

2. SYSTEM.INI の[386Enh]セクションに追加する EMMExclude=xxxx-xxxx」  
の設定  
Windows3.1 を使用する場合、1.と同様にカードサービスの使用するメモリウィンドウを Windows3.1 が使用しないように SYSTEM.INI で指定しなければなりません。  
例えばカードサービスが C800-CFFF をメモリウィンドウとして使用する場合、  
  
[386Enh]  
....(略)....  
EMMExclude=C800-CFFF  
....(略)....

と記述を追加する必要があります。

### ATA カードを WindowsNT4.0 で使用する

1996年11月現在、WindowsNT4.0は、未だ発売されておりません。ここでは、WindowsNT 4.0 版に基づいて説明していますので、製品版と異なる場合もありますが予めご了承ください。また、本製品は WindowsNT 3.xx には対応していませんのでご注意ください。

#### WindowsNT4.0 でのセットアップ

WindowsNT4.0では、ATA ハードディスクカードや FLASH ATA カードは ATDISK.SYS として登録されます。

1. パソコンの電源を切り、ATA カードを PC カードスロットに装着します。
2. パソコンの電源を入れて WindowsNT 4.0 を起動します。
3. [コントロールパネル] を起動して [デバイス] を開きます。
4. デバイス [Atdisk] を選択して [スタートアップ(R)...] ボタンを押します。
5. スタートアップの種類に [システム(S)] を選択して [OK] ボタンを押します。
6. 最後に [終了] ボタンを押して [コントロールパネル] に戻り、[コントロールパネル] を終了します。
7. WindowsNT 4.0 を再起動してログオンします。
8. [マイコンピュータ] にドライブアイコンが追加されていれば、ATA カードは使用可能です。

#### WindowsNT4.0 での ATA カードのフォーマット

WindowsNT 4.0 では、ATA ハードディスクカードや FLASH ATA カードは以下の手順で行います。ただし、WindowsNT 4.0 上でフォーマットをした ATA カードは、他の OS では読めなくなりますのでご注意ください。例えば、Windows95 との間でデータ交換を行う場合は、Windows95 で ATA カードをフォーマットしてください。

1. [マイコンピュータ] を開きます。
2. ATA カードが割り当てられたドライブアイコンでマウスの右ボタンをクリックします。
3. 表示されたメニューから [フォーマット(M)...] を選択します。
4. ファイルシステムは「FAT」, 「NTFS」どちらを選択しても構いません。
5. [クイックフォーマット] にチェックをして [開始] ボタンを押します。必ず [クイックフォーマット] はチェックしてください。チェックしないでフォーマットするとフォーマットが終了しなくなります。

### ATA カードを Macintosh で使用する

#### Macintosh でのセットアップ

Macintosh では、「PC カード機能拡張」と「PC Exchange」を登録します。

1. システムフォルダ内の機能拡張フォルダ内に「PC カード機能拡張」が登録されていることを確認します。  
そして、コントロールパネルフォルダ内に「PC Exchange」が登録されていることを確認します。
2. 上記2つの機能が登録されていない場合、システムソフトウェアのインストールを実行して登録します。
3. ATA カードを PC カードスロットに装着します。
4. しばらくするとデスクトップにドライブアイコンが表示されます。

詳しくは、Macintosh 本体 HD に入っている「はじめにお読みください」の PC カードに関連する説明をご覧ください。

#### ATA カードのフォーマット形式について

本製品は、MS-DOS 用にフォーマットされて出荷しています。したがって、「PC Exchange」の機能によってそのままマウントできます。

DOS マシンとデータ交換を行う場合は、ATA カードのフォーマットは DOS 形式のままでご使用ください。

本製品を Macintosh 上でフォーマットする場合、次に説明する「Macintosh フォーマット」で使用する場合だけにしてください。

Macintosh 上で「DOS フォーマット」を指定してフォーマットしても、正常に初期化できません。

DOS フォーマットに初期化する場合は、必ず DOS マシン上で行ってください。

詳しくは、Macintosh の Readme ファイルをご覧ください。

#### Macintosh フォーマットについて

本製品を Macintosh 専用で使用する場合に限り、「Macintosh フォーマット」で使用する事が可能です。

この場合、Macintosh 上で「Macintosh フォーマット」を指定してフォーマット実行する必要があります。

フォーマット手順については、Macintosh 本体 HD に入っている「はじめにお読みください」の PC カードに関連する説明をご覧ください。

## 3. 付録

### 各カードサービス別の設定例

ここでは、DOS/Windows3.1 がインストールされた各 PCMCIA ドライバ別に具体的な設定例で説明していきます。

これらの例は、あくまで DOS/Windows3.1 がインストールされたパソコンの標準的な環境を想定しています。Windows95 での場合は、ここでの説明とは異なりますのでご注意ください。また、メーカー側の仕様変更などにより実際にご使用頂いている環境と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。詳しくはパソコン本体に付属するカードサービスのマニュアルを参照してください。

#### IBM のカードサービスまたは Play At Will

ThinkPad 等の IBM 製のノートパソコンには IBM のカードサービスが提供されています。また、カードサービス単体が Play At Will という製品名で販売されています。これらのカードサービスを使用されている場合、CONFIG.SYS 中には以下のような記述があります(記述はバージョン、製品によって多少の違いがあります)。

Play At Will version 3.xx の場合

```
REM ***** IBM Card Service *****
DEVICE=C:¥EZPLAY¥SSDOSAT.SYS
DEVICE=C:¥EZPLAY¥IBMDOSCS.SYS
DEVICE=C:¥EZPLAY¥RMUDOSAT.SYS /MA=C800-CFFF
DEVICE=C:¥EZPLAY¥PAWATA.SYS
DEVICE=C:¥EZPLAY¥AUTODRV.SYS
.....
```

Play At Will version 2.xx の場合

```
REM ***** IBM Card Service *****
DEVICE=C:¥EZPLAY¥SSDOSAT.SYS
DEVICE=C:¥EZPLAY¥IBMDOSCS.SYS
DEVICE=C:¥EZPLAY¥RMUDOSAT.SYS /MA=C800-CFFF
DEVICE=C:¥EZPLAY¥AUTODRV.SYS C:¥EZPLAY¥AUTODRV.INI
DEVICE=C:¥EZPLAY¥DISKDRV.SYS
.....
```

Play At Will のバージョンによって ATA カード用のドライバが異なります。

Play At Will version 3.xx	PAWATA.SYS
Play At Will version 2.xx	DISKDRV.SYS

これらのドライバが PC カードスロットにドライブを割り当てます。スロットに挿された ATA カードは読み書き、フォーマットが可能となります。

これらドライバの記述がない場合はコンピュータ本体もしくはカードサービスのマニュアルに従い、ATA カードが使用できるように設定の変更を行ってください。Play At Will で認識できるハードディスクは最大 4 台です。

**Phoenix CARD Manager Plus (PC-DOS 6.1/V,6.3/V に付属)**

カードサービスとして Phoenix CARD Manager Plus を使用している場合、CONFIG.SYS 中には以下のような記述があります(記述はバージョンによって多少の違いがあります。また、PC-DOS に付属の場合は DOS と同じディレクトリ名になります)。

```
DEVICE=C:¥PCM3¥PCMSS.EXE
DEVICE=C:¥PCM3¥PCMCS.EXE
DEVICE=C:¥PCM3¥PCMRMAN.SYS
DEVICE=C:¥PCM3¥PCMSCD.EXE
DEVICE=C:¥PCM3¥PCMATA.SYS
.....
```

Phoenix CARD Manager Plus では PCMATA.SYS という ATA-IDE デバイスドライバを使用して ATA カードを IDE ハードディスクドライブとして使用できます。

上記の例のようにカードサービスの設定に既に PCMATA.SYS の記述がある場合は CONFIG.SYS の変更をする必要はありません。そのまま RHX-PC ATA カードを使用できます。

PCMATA.SYS の記述がない場合、コンピュータ本体もしくはカードサービスのマニュアルに従い、ATA カードを使用できるように設定を変更してください。

**SystemSoft ~~製~~カードサービス(CardSoft)**

カードサービスとして SystemSoft の CardSoft を使用している場合、CONFIG.SYS 中には以下のような記述があります(記述はバージョンおよび機種によって多少の違いがあります)。

```
DEVICEHIGH=C:¥CARDSOFT¥SSVADEM.EXE
DEVICEHIGH=C:¥CARDSOFT¥CS.EXE
DEVICEHIGH=C:¥CARDSOFT¥CSALLOC.EXE
DEVICEHIGH=C:¥CARDSOFT¥ATADRV.EXE
DEVICEHIGH=C:¥CARDSOFT¥CARDID.EXE C:¥CARDSOFT¥CARDID.INI
.....
```

SystemSoft の CardSoft の場合、ATADRV.SYS というドライバがハードディスクドライブとなっています。

上記の例のようにカードサービスの設定に既に ATADRV.SYS の記述がある場合は CONFIG.SYS の変更をする必要はありません。そのまま RHX-PC ATA カードを使用できます。

ATADRV.SYS の記述がない場合はコンピュータ本体またはカードサービスのマニュアルに従い、ATA カードが使用できるように、設定の変更を行ってください。

### DATABOOK 製 CARDTALK およびカードサービス

DATABOOKより提供されているソケットサービス(CardTalk)やDATABOOK版カードサービスを使用されている場合は CONFIG.SYS 中に以下のような記述があります(記述の詳細はバージョンや機種によって異なります)。

#### < CardTalk の記述例 >

```
DEVICE=C:¥PCMCIA¥CARDSOCK.SYS
DEVICE=C:¥PCMCIA¥SOCKET.SYS
DEVICE=C:¥PCMCIA¥CARDTALK.SYS /A /NOSHARE
.....
```

#### < DATABOOK 版カードサービスの記述例 >

```
DEVICEHIGH=C:¥CARDCS¥SOCKET.SYS
DEVICE=C:¥CARDCS¥CTALKCS.EXE
DEVICE=C:¥CARDCS¥CARDTALK.SYS
.....
```

これらのカードサービス、ソケットサービスは他のデバイスドライバを用いなくても ATA カードに対応しているので記述は変更する必要がありません。そのまま RHX-PC ATA カードをご使用になれます。

詳細はそれぞれのカードサービス、ソケットサービスのマニュアルを参照してください。

### NEC PC98 ノートシリーズ

カードサービスの搭載されている NEC のノートパソコン場合、CONFIG.SYS に以下のような記述があります(詳細は機種によって異なります)。

```
DEVICEHIGH=A:¥CARDSOFT¥SSDRV.SYS
DEVICEHIGH=A:¥CARDSOFT¥CS.EXE
DEVICEHIGH=A:¥CARDSOFT¥CSALLOC.EXE :¥CARDSOFT¥CSALLOC.INI
REM DEVICEHIGH=A:¥CARDSOFT¥CDCOMP.SYS
REM DEVICEHIGH=A:¥CARDSOFT¥MCDRV.SYS
DEVICEHIGH=A:¥CARDSOFT¥HDCARD.SYS
DEVICEHIGH=A:¥CARDSOFT¥CARDID.EXE A:¥CARDSOFT¥CARDID.INI
.....
```

NEC のカードサービスでは HDCARD.SYS が ATA カードのハードディスクドライバとなっています。例のように既に登録されている場合は CONFIG.SYS の変更なしにそのまま RHX-PC ATA カードが使用可能です。

登録がされていない場合はコンピュータ本体のマニュアルに従って ATA カードが使用できるように設定の変更を行ってください。

**EPSON PC-486/586 シリーズ(98 互換機)**

エプソンの PC-486/586 ノートシリーズ ( 98 互換機 ) で提供されているカードサービスでは CONFIG.SYS に以下のような記述があります。

```
DEVICEHIGH=A:¥CARDSOFT¥SS.EXE
DEVICEHIGH=A:¥CARDSOFT¥CS.EXE /IRQ 3
DEVICEHIGH=A:¥CARDSOFT¥CSALLOC.EXE :¥CARDSOFT¥CSALLOC.INI
DEVICE=A:¥CARDSOFT¥ATADRV.EXE /D:1
DEVICE=A:¥CARDSOFT¥SRAMDRV.EXE
DEVICEHIGH=A:¥CARDSOFT¥CARDID.EXE A:¥CARDSOFT¥CARDID.INI
.....
```

エプソン UG ノートシリーズで提供されているカードサービスでは ATADRV.EXE および SRAMDRV.EXE が ATA カードのハードディスクを使用可能にします。また、記述例では /D:1 のオプションをつけることによって二つの PC カードスロットのうち、一つにだけドライブを割り当てています。例のように既に登録が行われている場合はそのまま RHX-PC ATA カードが使用できます。

登録がされていない場合はコンピュータ本体のマニュアルに従って ATA カードが使用できるように設定の変更を行ってください。



## 各ディスクの仕様

## FLASH ATA カードの仕様

		RHX-5005	RHX-5010	RHX-5020	RHX-5040
容量(フォーマット時)		5.2MByte	10.4MByte	20.9MByte	41.8MByte
シリンダ数		160	320	640	1280
ヘッド数		2	2	2	2
セクタ/トラック		32	32	32	32
セクタ/カード		10,240	20,480	40,960	81,920
消費電力	スリープ時	1mA			
	リード動作時(TP)	80mA			
	ライト動作時(TP)	120mA			
	電源	5V ± 10%			
転送レート		3MByte/sec			
アクセス タイム	スリープ リード	2.0mSec 以下			
	スリープ ライト	2.5mSec 以下			
	コマンド オフ-ヘッド	1.25mSec 以下			

## ATA ハードディスクカードの仕様

		RHX-5170	RHX-5260
容量(フォーマット時)		170MByte	260Mbyte
ディスク枚数		2	2
シリンダ数		923	925
セクター/トラック		45	61
ヘッド数		4	
キャッシュメモリー		64Kbyte	
アクセス タイム	平均	16mSec	
	To/From Media	2.02-4.03 MB/Sec	2.21-4.65 MB/Sec
	To/From Interface	11 MB/Sec(Max)	
消費電力	電源	5V ± 5%	
	スタンバイ時	4mA	
	アイドルモード時	100mA	
	シーク時	300mA	
	最大(スピンアップ時)	600mA	

## オプション製品について

ここでは、ATAカードをより有効にお使い頂くためのオプション製品を紹介します。  
製品型番、製品仕様、製品価格等は1996年11月現在のものです。

### デスクトップパソコンで ATAカードを使用する場合

デスクトップパソコン（PC/AT互換機、PC98シリーズ）でPCカードを使用するためのアダプタを用意しています。

これによりATAカードをデスクトップパソコンでも使用可能になります。

for PC/AT互換機（ISAバス）

型番 / 価格	仕様
REX-5051 ¥29,800	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TYPE ×2スロット （カードドライブとボードに各1スロット装備）</li> <li>・ Play At Will for REX標準添付</li> </ul>
REX-5051F ¥29,800	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TYPE ×1スロット、 TYPE ×1スロット （カードドライブに各1スロット装備）</li> <li>・ Play At Will for REX標準添付</li> </ul>
REX-5051W ¥22,800	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TYPE ×2スロット （カードドライブとボードに各1スロット装備）</li> <li>・ Windows95, WindowsNT 3.51専用モデル</li> </ul>
REX-5051FW ¥22,800	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TYPE ×1スロット、 TYPE ×1スロット （カードドライブに各1スロット装備）</li> <li>・ Windows95, WindowsNT 3.51専用モデル</li> </ul>
共通仕様	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PCMCIAコントローラはIntel 82365SL互換</li> <li>・ カードドライブは3.5インチFDDベイサイズ 5インチファイルベイ用アタッチメント付</li> </ul>	

for PC98シリーズ（Cバス）

型番 / 価格	仕様
REX-9851 ¥23,800	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TYPE ×1スロット、 TYPE ×1スロット （ボード上に各1スロット装備）</li> <li>・ CardSoft 3.12標準添付</li> </ul>
REX-5051F ¥29,800	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TYPE ×1スロット、 TYPE ×1スロット （カードドライブに各1スロット装備）</li> <li>・ CardSoft 3.12標準添付</li> </ul>
REX-9851W ¥19,800	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TYPE ×1スロット、 TYPE ×1スロット （ボード上に各1スロット装備）</li> <li>・ Windows95専用モデル</li> </ul>
REX-9851FW ¥26,800	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TYPE ×1スロット、 TYPE ×1スロット （カードドライブに各1スロット装備）</li> <li>・ Windows95専用モデル</li> </ul>
共通仕様	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PCMCIAコントローラはIntel 82365SL互換</li> <li>・ カードドライブは3.5インチFDDベイサイズ 5インチファイルベイ用アタッチメント付</li> </ul>	

RHX ATA シリーズ質問用紙 ( 拡大コピーの上ご記入ください )

下記ユーザ情報をご記入願います。

法人登録の方のみ	会社名・学校名			
	所属・部署			
氏名				
住所	〒			
TEL		FAX		
製品型番	RHX-	シリアル番号		
販売店名		購入年月日		

下記パソコン環境情報をご記入願います。

パソコン機種名				
使用 OS	Windows3.1 (DOS Version )	Windows95	Macintosh OS	
カードサービス名				

質問内容：

添付資料：インストール等に関するご質問の場合は下記データが必要です。送付して頂いたデータをチェックしてください。

CONFIG.SYS            AUTOEXEC.BAT            SYSTEM.INI  
 CSALLOC.INI            PCM.INI            デバイスマネジャのシステム概要

デバイスマネジャのシステム概要 ( Windows95 のみ )

- (1) デバイスマネジャから[印刷(N)...]ボタンを押します。
- (2) レポートの種類に「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択して [ OK ] ボタンを押します。